６．北陸（地域別調査機関：（財）北陸経済研究所）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連	良くなっている	通信会社（社員）	販売量の動き	・携帯電話の販売数が増加している。
	やや良くなっている	百貨店（売場主任）	単価の動き	・今年は冷夏のため初秋物、晩夏物のプロパー価格商品が非常に好調に動いている。
		衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・冷夏の影響もあったが、例年に比べて秋物の立ち上がりが早かった。
		家電量販店（経営者）	販売量の動き	・大型のプラズマテレビと液晶テレビが、キャンペーン効果もあって大幅に伸びている。同じサイズのブラウン管式と比べて単価が２倍以上のため、売上に大きく寄与している。
		テーマパーク（職員）	来客数の動き	・前年同月に比べて、来客数が２けたに近い伸びとなった。主な要因は冷夏のため海やプールに流れるはずの客が利用してくれたこと、昨年大河ドラマに伴う大型イベントに奪われた家族連れの客が戻ってきたことなどである。
	変わらない	商店街（代表者）	販売量の動き	・報道機関において「今年は冷夏のため果物の味にも影響が出ている」とひんぱんに報道され始めたころから、売上が低下しだした。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・来客数は若干増加したが、増えた客は日替わりの特売商品だけを買っている。
		スーパー（営業担当）	単価の動き	・客単価は１年前に比べて50～100円低下している。
		コンビニ（経営者）	それ以外	・８月は売上、来客数、客単価が上がったが、例年と比較すれば天候不順の影響でやや悪い。
		住関連専門店（店員）	販売量の動き	・受注件数は全体で前年比87%、家具部門は同95%、ホームファッション部門は同86%となっている。ブライダルや新築などの需要は伸びているが、通常需要と思われる買換えや夏商材の売上確保は厳しい。
		その他専門店［医薬品］（営業担当）	お客様の様子	・ふだん使う消耗品等の動きは変わらないが、我慢すればまだ使える耐久消費財等の動きは鈍い。
		高級レストラン（スタッフ）	販売量の動き	・夏に強いステーキ専門店は冷夏のため例年を大幅に下回り、低価格のバイキングだけが好調だった。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・一般宴会は大型宴会の実施により前年を大きく上回る見込みである。レストランウエディングを含む婚礼収入も前年並みとなっているが、客室稼働率や客室平均単価ともに前年を下回っている宿泊部門と,宿泊客数の減少に伴いレストランの通常営業収入が下回る見通しで、全体ではほぼ前年並みになる。
		旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・海外旅行のパンフレットの持ち帰りが多くなり、受注も徐々に出てきた。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・７月は冷夏のせいか、美容業界は全般的にかなり悪かった。８月はほぼ前年並みに戻したが、前月分をとてもカバーできなかった。
		住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・特別価格や新企画を打ち出せば集客できるが、通常の販売では興味を示してもらえず、全く人が来ないという状況が続いている。
	やや悪くなっている	一般小売店［鮮魚］（店長）	単価の動き	・１人当たり買上点数も客単価もダウンしている。主に売れているのは特売商品で、その比率も高くなっている。
		一般小売店［鮮魚］（従業員）	お客様の様子	・取引先の中規模料理店やすし店で廃業が増えてきた。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・８月は天候不順のため、アイスクリーム、飲料、そうめんやつゆなど、夏に売れるべき商品が全く売れなかった。一方、夏場はあまり強くないパンやうどんなどが売れているが、本来の夏商品の不振をカバーしきれなかった。
		スーパー（店長）	単価の動き	・来客数、客単価ともに前年より落ちている。特に日曜、祭日のダウンは天候不順の影響とみられる。
		家電量販店（店長）	販売量の動き	・今年の冷夏はエアコンを中心とした夏物商品に大きな影響を与えた。

		乗用車販売店（総務担当）	販売量の動き	・価格の安い「リッターカー」といわれる車はまだ人気が高く、販売台数もある程度堅調に推移しているが、50代以上の熟年層の買う200～300万円のセダンタイプの売行きは相変わらず回復していない。
		乗用車販売店（営業担当）	単価の動き	・大衆車は前年並みであるが、高級車の動きはあまり良くない。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・冷夏の要因もあるが、８月は中旬以降来客数が少なく、ここ数年間の８割程度であった。また、個人事業者、鉄工、建設関係の客からは相変わらず厳しいという声が聞かれる。
		都市型ホテル（スタッフ）	単価の動き	・単価の低下が続いており、特に宿泊部門において大幅である。また、レストラン部門、宴会部門ともに格安プランに集中している。
		タクシー運転手	来客数の動き	・今月は特に帰省客や観光客が多く見られるが、ほとんどがマイカーやレンタカーで動いており、タクシーの利用客は少ない。また、繁華街の人出もいつもと変わらず多くない。
		競輪場（職員）	来客数の動き	・盆休み中の売上に期待したが、来場者数は前年比１割以上減少している。
		設計事務所（職員）	それ以外	・客の低価格志向と同業者間の過当競争の激化が重なっており、この状態は業界淘汰が始まるまで続く。
		住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・住宅ローン控除の期限切れで、客に住宅の計画を変更する様子がみられる。自己資金の範囲内または少額の借入れを加えた範囲内にとどめるため、新築が減少し、リフォームが増加している。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・８月はもともと需要の少ない時期であるが、５～６月の駆け込みの反動で例年より少なかった。
	悪くなっている	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・夏物の最終バーゲンセールは前年の107%となっているが、秋物のプロパー商品の動向は同90%を切っている。
		百貨店（営業担当）	それ以外	・冷夏の影響が一番大きい。秋物衣料品では長袖、食料品では暖かい素材や料理が多少動いているが、夏物の売場構成比が圧倒的に多いため、全体としては苦戦が続いている。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・早期に立ち上がった夏物セールが今でも続いているため、客はセール品に飽きている。また、今年の秋物は前年より１週間程度早く立ち上がっているが、動いているのは半袖、五分袖の衣料や夏でも着られる素材が中心のため、客単価は非常に落ち込んでいる。
		コンビニ（経営者）	それ以外	・中心部を拠点とするイベントが行われたときはそれなりに売上は上がるが、ふだんの日は相変わらず悪い。
企業動向関連	良くなっている	－	－	－
	やや良くなっている	一般機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・最近の引き合いをみると、自動車関連の客を中心に新商品や新技術を必死に探しているところが多い。工場見学者も多く、６～７月は前年比15%増、８月は同60%を超える増加となっている。
		通信業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・通信業界は非常に上向きになっている。ブロードバンド回線も計画額を大幅に上回り、また案件も計画以上に進捗している。
		新聞販売店［広告］（従業員）	取引先の様子	・チラシ広告の取扱量が増加している。
	変わらない	繊維工業（経営者）	競争相手の様子	・競争相手も大変苦戦しており、お互いに厳しい。
		繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・生産の用途により、好、不調は異なるが、婦人衣料が特に悪い。
		化学工業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・販売量はゆっくりではあるが、回復基調が出てきている。しかし、価格競争は相変わらず激しい。
		電気機械器具製造業（経理担当）	受注価格や販売価格の動き	・移動体通信関係の部品は供給過剰となっており、価格崩れが始まっている。
		建設業（経営者）	競争相手の様子	・本来公共工事の発注時期にもかかわらず、相変わらず発注がないため、少ない工事を目指してダンピングが横行している。
	やや悪くなっている	食料品製造業（企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・同一商品群の中で販売価格の安い物に移行しており、高い物は売れない。数量的にはあまり変わらないが、売上高、利益率ともに非常に厳しくなっている。

		輸送業（配車担当）	取引先の様子	・冷夏のため飲料関係も動かず、出荷量は前年に比べて半分以下であった。気温が低いため本来夏場に売れないカップラーメンなどが少し動いたが、量的に少ないため、厳しい月となった。
		輸送業（配車担当）	受注価格や販売価格の動き	・毎回受注価格が下がりつつある。量的にはあまり変わらないが、価格の低下が非常に厳しい状態である。
	悪くなっている	建設業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・特に北陸３県で中堅大手ゼネコンの低価格入札が日常的に行われ、採算を確保した受注は極めて困難となっており、赤字覚悟でなければ仕事は取れない。
雇用関連	良くなっている	－	－	－
	やや良くなっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人の増加傾向が続いている。求職者は減少傾向である。
		民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・車関連企業、工作機メーカー、ハウスメーカー、アルミ関連企業、医薬品メーカーなどからの求人が増加している。
	変わらない	新聞社［求人広告］（担当者）	求人数の動き	・求人広告の売上は前年とほぼ同じである。
		新聞社［求人広告］（担当者）	求人数の動き	・ここ３か月間は地元の求人件数が増加しているが、東京、大阪、名古屋など都会地からの求人件数は減っている。
		学校［大学］（就職担当）	採用者数の動き	・中小企業から採用未定者に関する問い合わせが結構ある。
	やや悪くなっている	－	－	－
	悪くなっている	職業安定所（職員）	それ以外	・常用の月間有効求人数が前年同月比で増加しているが、40歳以上の常用及び常用的パート求人数は落ち込んでいる。とりわけ50歳以上の求人数の減少が目立っている。 ・前年同月との比較では在職中の求職者数は８か月連続で増加しており、辞めてから１年以上の無業者の求職者数も２か月連続で増加している。また、自己都合離職者も大幅に増加している。